
あまたちの唄

かみたかお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あまだちの唄

【Nコード】

N4444H

【作者名】

かみたかお

【あらすじ】

夫婦とは、何かを考えてみる。人それぞれと言えばそれまでだが、サラリーマンとして働く、主人公の想いを綴った物語です。

あまたちの始まり

「お疲れ〜。」

何気ない日常が、この一言で終わりを告げる。

汗だくになった、シャツが背中に張り付きながらも今日という1日を終え、笑顔で帰る足取りは、何故か重い。

仲間とロッカーでくだらない話に花を咲かせつつも、偽りの自分を隠すのが日課でもあった。

23歳で結婚をし子供は2人いるが、家に帰るそのはずのその足は、他の場所へと向いていた。

橋の手前の交差点を曲がると、そのまま河原の駐車場へと向かった。型落ちのワンボックスを駐車場に止め、そこで大きく溜め息を吐く。煙草に火をつけ解放感に酔いしれながら、街の灯りに目を向ける。

(まだ、みんな働いているのか・・・。)

身も知らぬ人の事を考えては、自分の生活と照らし合わせ、そのまま目を閉じた。

今の自分を縛り付けているのは、家族への想いでしかない。

当たり前前の生活を過ごして行く事、そして、家族を食べさせて行く事だった。

そんな生活の中で、自分の中に引っかかっている事があった。

体でも無い、言葉でも無い、2人の時間が少しずつ違ふ事に気づいてしまったのだ。

高校時代から付き合い始め、互いの想いを寄せ合い結婚をした。

2人の生活が始まると思っていたが、現実は違った・・・。

僕の心にあまたちが降り始めたのは、それから間もなくだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4444h/>

あまたちの唄

2010年10月9日23時24分発行